

秋の味覚「さんま」の価格 ～小売物価統計調査の結果から～

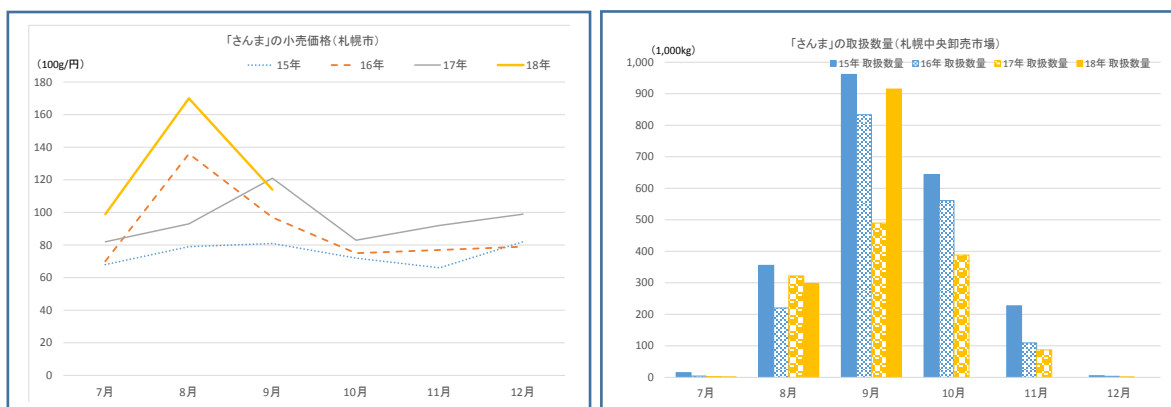


読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。秋の味覚の代表格といえば「さんま」。

近年不漁が続いたことから、価格が上昇していました。2018年は、「8月からの水揚げが好調で、価格が下がるのでは」との報道があり、久しぶりに安くて美味しいさんまを堪能できるのではないかと期待されました。

そこで今回、小売物価統計調査の結果から最近の「さんま」の価格の動きを見てみましょう。

図は、小売物価統計調査の調査対象市町村の中から、「さんま」の水揚量が最も多い北海道の札幌市の小売価格と、札幌中央卸売市場の取扱数量について、例年さんま漁が解禁となる7月からの動きを示したものです。



出典：小売物価統計調査、札幌中央卸売市場

「さんま」の旬である9月の動きをみると、2017年までの札幌中央卸売市場の取扱数量は減少傾向、小売価格は上昇傾向となっており、不漁が価格に影響しているのが分かります。

2018年は、豊漁のニュースがあったように、取扱数量は2017年に比べ増加、価格は若干ですが下落しています。安くて美味しい「さんま」を堪能するまで、あと一步かも知れません。

例年、10月は「さんま」の価格が下落する月なので、鮮魚売り場をのぞいてみるのはいかがでしょうか。
(2018年10月19日掲載)